

Rankoshi

2019

8

August
No.768

第6回 蘭越町開基120年記念
蘭越せせらぎまつり

▲7月27・28日 蘭越町開基120年記念事業第6回蘭越せせらぎまつりが、辰野川河畔公園で開催されました。前夜祭と本祭あわせて約2,000人が来場し、フイナールでは毎年恒例の、紅白2個人（今年は120kg約4,000袋）のもちまきが行われました。



広報

らんり

8月号

●発行日/令和元年8月15日●通算/768号●発行/蘭越町●住所/〒048-1392北海道磯谷郡蘭越町蘭越258-5 (TEL0136-57-5111) ●編集/総務課広報広聴係●印刷/株総北海

●ホームページ http://www.town.rankoshi.hokkaido.jp/

●Eメール kouhou@town.rankoshi.jp



名 前 東 恭也 くん 5歳
いるは ちゃん 1歳11ヶ月

生年月日 平成26年5月27日

平成29年8月26日

ご両親 雅倫さん、琴美さん

いるはちゃんは、物事の基本をしっかりと理解し、色々なことに発展させていけるような子になるようにという思いを込めて名付けました。最近のブームは、ちょっと高い所からジャンプして降りることと、お兄ちゃんのお世話をする。トマトとブロッコリーが大好物！

お兄ちゃん とても活発で食べるの大好きないるはちゃん。これからも元気いっぱい遊んで、すくすく大きくなってね！！お兄ちゃんといつまでも仲良しでいてね！！

～蘭越保育所～
作品
「たなばた
かざり」

きりん組



た	さ	に	な	た
ち	さ	が	か	な
は	き	ら	た	が
な	こ	い	こ	い
さ	は	っ	ま	ち
ゆ	る	か	こ	が
き	ち	ち	ま	ち
(5さい)	(5さい)	(6さい)	(6さい)	(5さい)
ちゃん	ちゃん	ちゃん	ちゃん	ちゃん

北海道のチリメン漁

チリメンは、魚類の稚魚で、釜茹でにしたものや佃煮にしたものがあり、食卓で大活躍する食べ物のひとつです。北海道のチリメンは、主に3種の魚類から構成され、それぞれに名前があるのですが、外観からの区別は非常に難しく、生体から遺伝子を採取し、解析しなければ正しい種類の区別ができません。身近な食材ですが、名前の区別が難しいなんて驚きではないでしょうか。

北海道のチリメンは、漁獲できる時期が決まっています。その期間に港から船を出して、チリメンが居そうな漁場へ向かいます。チリメンは、南から北上するため、日本海側において、初めは瀬棚町沖で漁を開始し、漁期の最後には積丹半島沖で行います。今年のチリメン漁は、例年の約40倍の漁獲だそうで、早速、チリメン漁に同行しました。午後7時頃に寿都漁港を出港し、10分ほどで漁場へ到着。到着すると、ライトで海面を照らします。ライトが照らされた海面には、植物プランクトンがやってきて、それを食べる動物プランクトンがやってきます。そして、動物プランクト

ンを食べるチリメンがやってきます。チリメンがライトに集まると、船から網を下ろし、下からチリメンを覆って、漁獲します。一日に漁獲できる量は決まっています、1漁船あたり1トンまでです。約30kgのチリメンが入る箱は、すぐにチリメンでいっぱいになり、約3時間で、目標の1トンを漁獲することができました。漁港に戻ると、漁獲したチリメンを10kgずつ発砲スチロールの箱へ入れて終了です。1トンの漁獲なので、発砲スチロールが100個も並びます。一連の作業を終えたのは、朝の3時頃。貝の館では、チリメンと混獲されたさまざまな動物プランクトンを顕微鏡で見ることができます。

チリメンの漁獲方法は、食物連鎖の仕組みを利用した効率的な漁法で、食から始まる生物や環境について学ぶ良い1つの材料と言えます。

▷寿都沖で作業中のチリメン漁船

